

令和8年度 建築士会九州ブロック研究集会
『建築士の集い』熊本大会

本冊子は以下HPから
カラー版を電子でご覧
いただけます。



写真提供：熊本城総合事務所

九州共創
く熊本でかたらんね！く

主催：公益社団法人 日本建築士会連合会 九州ブロック会
主管：公益社団法人 熊本県建築士会
後援：熊本県、熊本市

建築士会の綱領

1. われらの建築は 人類の幸福のため 最良の芸術たるべし
2. われわれ建築士は 社会の発展のため 最新の指導者たるべし
3. わが建築士会は 会員の向上のため 最善の団結たるべし

建築士の歌

- | | | |
|------------------|----------------|----------------|
| 1. 晴れ渡る 世紀の空に | 2. 日に進む 時代を越えて | 3. 巣立ちゆく 若き日本に |
| 槌音は 冴えてとどろく | 新たなる 文化つちかう | 建設の 使命果てなし |
| この力 更に加えて | この理想 高くかざして | この技術 共に磨きて |
| 同胞(イハカ)の幸(サ)を護らん | 悠久の 平和築かん | 明日への 飛躍誓わん |
| おお われら われら 建築士 | おお われら われら 建築士 | おお われら われら 建築士 |

大会テーマ 『九州共創～熊本でかたらんね！～』

<開催趣旨>

今年で、熊本地震発生から10年、令和2年7月豪雨から6年が経ちました。熊本城は復興半ば、肥薩線は不通のままですが、たくさんの方にご支援をいただき、熊本は元気を取り戻しつつあります。

本日の会場である熊本城ホールがあるサクラマチクマモトは、バスターミナルを有する複合施設であり、まちのパブリックスペースと一体になるように計画した地上30mの屋上庭園は熊本城と繋がっていることを感じることができます。まちの歴史と人々の活動を繋げる中心的役割を果たしており、熊本のまちににぎわいを創出しています。

大会テーマの「共創」とは多様な立場の人達と対話しながら、新しい価値を「共」に「創」り上げていくことを意味しています。「かたらんね！」には、熊本弁で、“語りましょう”という意味もありますが、“参加しませんか” “仲間に入りませんか”という意味にもなります。

九州のまんなかにある熊本で、集いの輪にかたって、おおいに語り合ってください。本大会が、九州が一つとなって、建築の未来を共に創り上げていく発端となることを期待いたします。

目 次

● 目次・C P D単位について	1
● 研究集会プログラム	2
● 会場案内	3
● 会場レイアウト	4
● 意見交換会プログラム	5
● 地域実践活動発表について	6
● 地域実践活動発表テーマ一覧	7
● 各県地域実践活動報告	8
● 第1分科会	24
● 第2分科会	25
● 第3分科会	26
● 第4分科会	27
● 第5分科会	28
● 参加者集計表	29
● 広告・協賛	30

「建築士の集い」熊本大会のC P D単位について

今回の「建築士の集い」熊本大会では以下のようにC P Dプログラム認定されております。

日にち	認定プログラム名		単位数
6月20日	「建築士の集い」熊本大会	地域実践活動発表	1単位
6月20日	「建築士の集い」熊本大会	第1分科会	2単位
6月20日	「建築士の集い」熊本大会	第2分科会	
6月20日	「建築士の集い」熊本大会	第3分科会	
6月20日	「建築士の集い」熊本大会	第4分科会	
6月20日	「建築士の集い」熊本大会	第5分科会	

研究集会プログラム

●大会テーマ 『九州共創～熊本でかたらんね！～』

●会場 熊本城ホール2階 シビックホール 他
〒860-0805 熊本市中央区桜町3番40号

●プログラム

12:30 受付開始

13:00 開会式（熊本城ホール2階 シビックホール）

開会の辞 [熊本県建築士会副会長]

建築士会綱領唱和 [大会実行委員長]

九州ブロック会会長挨拶 [九州ブロック会会長]

九州ブロック青年建築士協議会会長挨拶 [九州ブロック青年建築士協議会会長]

熊本県建築士会会長挨拶 [熊本県建築士会会長]

来賓祝辞 [熊本県土木部建築住宅局長 折田 義浩 様]

[熊本市都市建設局公共建築部長 原 和義 様]

13:30 運営説明

13:40 全体会開始

地域実践活動発表（各県代表者7分）

14:45 分科会説明、移動（小休憩）

15:00 分科会開始

第1分科会 地域実践活動テーブル討議「これからの地域共創」〈3階 会議室C1+C2〉

第2分科会 古谷誠章氏の講演「建築が引き合わせる、もの、人、風土」〈2階 シビックホール〉

第3分科会 熊本城の復旧状況が分かる現地見学会〈3階 会議室E1+現地（熊本城）〉

第4分科会 親子でたのしむ「たてもののシールでまちづくり！」〈3階 会議室D1+D2〉

第5分科会 くまもと城下町まちあるき〈現地（熊本城ホール周辺～新町・古町界限）〉

17:00 終了

会場案内

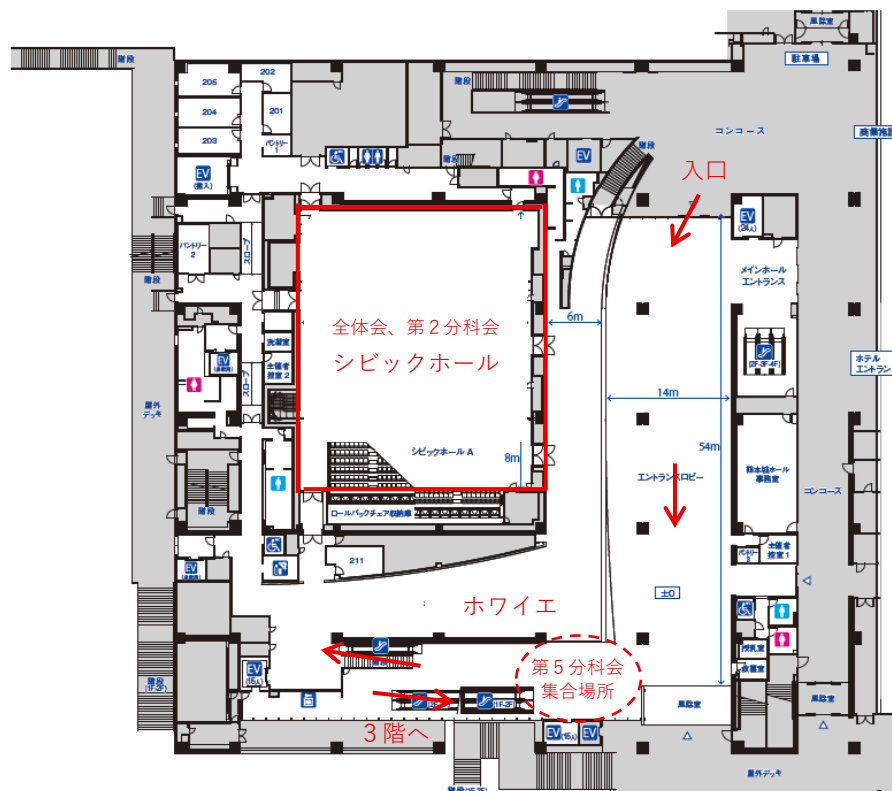


◎熊本駅から／市電約 12 分、車約 10 分

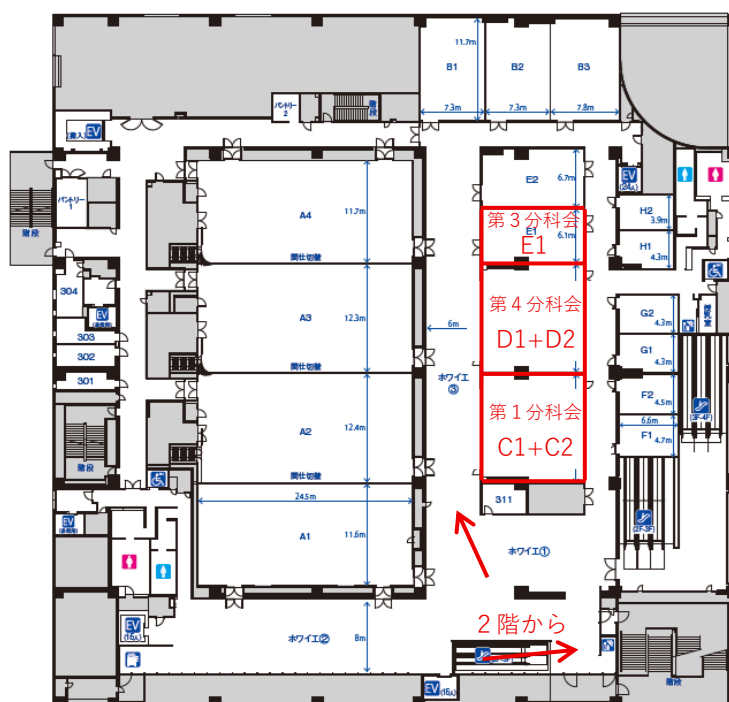
◎阿蘇くまもと空港から／バス約 46 分

◎熊本 IC から／車約 35 分

会場レイアウト



熊本城ホール 2 階



熊本城ホール 3 階

意見交換会プログラム

●テ　　マ　『もういっぺん集まって、飲まんね』

●会　　場　熊本城ホール 2 階 シビックホール

〒860-0805 熊本市中央区桜町 3 番 4 0 号 TEL 096-312-3737

●プ　ロ　グ　ラ　ム

1 8 : 0 0 開場 受付開始

1 8 : 3 0 開会式

開会の辞

[大会実行委員長]

日本建築士会連合会会長挨拶

[日本建築士会連合会会長]

地域実践活動投票結果発表・表彰

[九州ブロック青年建築士協議会会長]

1 8 : 4 5 鏡割り・乾杯

[九州ブロック女性建築士協議会会長]

1 9 : 0 0 余興（「宇土天響太鼓」 和太鼓パフォーマンス）

1 9 : 4 0 各県挨拶 [鹿児島-大分-長崎-佐賀-宮崎-福岡] （各県 3 分×6 県）

次回開催県挨拶 [沖縄県] （5 分）

開催県挨拶 [熊本県] （5 分）

2 0 : 2 5 閉会の辞

[熊本県建築士会女性部会部会長]

2 0 : 3 0 終了

●参　加　費 6,500 円/人（高校生以下は無料）

●注　意　事　項 分科会終了後に一度退出していただき、会場レイアウトを変更後に受付を開始
します。

地域実践活動の投票結果を発表します。

地域実践活動発表について

- 会 場 熊本城ホール 2 階 シビックホール
- 内 容 私たち建築士が、各地域に根ざして行ってきたさまざまな活動や、地域のための先進的な提案事例、行政や市民、学生などへの協力活動など、建築士として、地域で必要とされている九州各地の取組みについて県ごとに発表し、今後の活動について、建築士会の近未来についての情報共有の機会とします。また、全国大会における九州ブロック会代表発表者の選出も同時に行うこととします。
- プログラム
 - ・各県代表による地域実践活動の発表 7 分／県
 - ①沖縄県 ②鹿児島県 ③大分県 ④長崎県 ⑤佐賀県 ⑥宮崎県 ⑦福岡県 ⑧熊本県
 - ・全ての県の発表終了後に投票
- 発表内容 各県代表者 2 名（発表者、補助者）により、各県毎に 1 事例のみの発表とします。テーマに沿った内容で、団体・個人・建築士会の関与は問いませんが、建築士会会員が主体となって参画する事例とします。
- 投票方法 九州ブロック会大会運営規定に基づき、下記の要領で投票を行います。
 - ・選考委員会（九州ブロック会会長、各県青年委員長、女性委員長）の 17 名と各県 10 名（各県青年委員長及び、女性委員長が選出）が発表を踏まえて投票を行います。
 - 選考委員会の委員は、1 名 5 ポイント 計 85 ポイント
 - 各県代表の 10 名は、1 名 1 ポイント 計 80 ポイント
 - 合計 165 ポイント
 - ・投票は、当日午前中に九州ブロック青年・女性建築士協議会で配布する投票用紙にて投票してください。
 - ・投票にあたって所属県の発表者には投票できません。
 - ・選考委員の投票は、1 県に対して上限 3 ポイントまでとします。
 - ・開票は、選考委員会で行います。

地域実践活動発表テーマ一覧

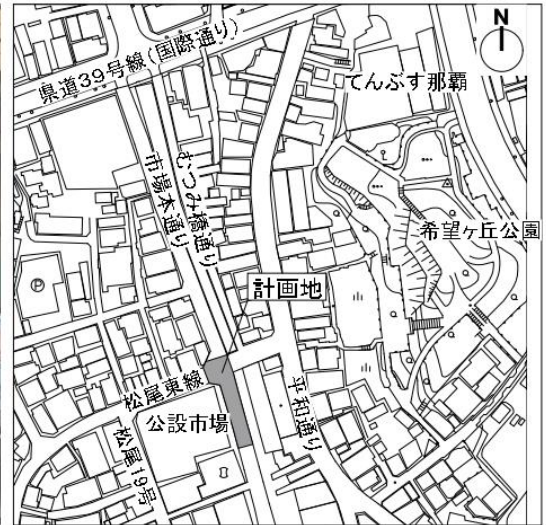
- 1 沖縄県 市場中央通り第1アーケード再整備
(発表者：新垣 朝憲)
- 2 鹿児島県 子供の夢を建築する！！建築士会員の活動
(発表者：福山 真世)
- 3 大分県 住宅セミナー24年の変遷 これまで▶これから
(発表者：櫻木 弘三郎)
- 4 長崎県 未来へ紡ぐ～長崎らしさの継承～
(発表者：鯖江 康裕)
- 5 佐賀県 地震被害を減らすための耐震の普及活動について
(発表者：松尾 祐弥)
- 6 宮崎県 「防災+ものづくり」建築士にできること
(発表者：興梠 幸大)
- 7 福岡県 歴史的建造物委員会の活動紹介
(発表者：花吉 朝陽)
- 8 熊本県 旅館白磯再興プロジェクト ～文化財はまちづくりの核となり得るか!?～
(発表者：畑元 正司)

建築士会名 (公社) 沖縄県建築士会	地域会名	活動団体名・代表者名 新垣 朝憲
発表者名 新垣 朝憲	所在地 沖縄県那覇市牧志三丁目810—11	
第1分科会出席者名 新垣 朝憲	TEL 090-1875-8535	
補助者名 奥原 和明	FAX	
	E-mail tarakaki@aandcworkshop.com	
テーマ 市場中央通り第1アーケード再整備		
概要 ■活動の概要 事業名：市場中央通り第1アーケード再整備事業 事業主体：市場中央通り第1アーケード協議会 活動期間：2019年～2024年 設計者：(有)義空間設計工房、(株)優家一級建築士事務所、(株)エーアンドシーワークショップ 市場中央通り第1アーケードは、那覇市第一牧志公設市場（以下「公設市場」）に面する、約50mの範囲に設置されていたアーケードです。那覇市の牧志公設市場周辺には、網目状に広がるアーケードが整備されており、周辺の商店をつなぎながら、まち全体の「にぎわい」と、沖縄独特の雰囲気を持つ商店街を形づくってきました。しかし、市場中央通り第1アーケード（以下「アーケード」）は、公設市場の建替えに伴い、撤去されることとなりました。雨が多く、日差しの強い沖縄において、通りをつなぐアーケードは、歩行環境を守るだけでなく、まちの一体感を育む欠かせない存在です。 市場中央通りで店舗を営む店主の方々は、アーケードの再整備を目指して協議会を立ち上げました。そして、那覇市の職員、アドバイザー、建築士、建設会社が連携し、力を合わせてアーケードの再整備に取り組みました。 ■活動の趣旨 「地域貢献」 協議会のメンバーから呼びかけられた建築士と地域担当の建築士の3名でチームを組み、アドバイザーと共に協議会、行政、周辺環境の調整を行いました。 ■活動の実績 2019年 協議会主催の勉強会やワークショップへの参加 2020年 アーケードの歴史や沖縄の他の市町村のアーケードの勉強会の開催 再整備に向け、那覇市アーケード設置要綱や各種法規、埋設物等の課題整理 アーケード再整備に向けたコンセプトは「ウトウイムチ（おもてなし）アーケード」 2021年 既存アーケードとの連続性や調整によるまちの統一を図ったデザインの方針決定 店舗や公設市場の入口に合わせ、柱の本数や太さ、位置の調整と現地確認 2022年 設計業務については完了したものの、見積もり超過の為、減額に向けた検討を行い、併せて行政との協議・再調整 隣接する公設市場の工事の為、通り上部に架かっていた仮設撤去 2023年 工事見積の結果、施工会社決定し、施工に入る 杭工事の際、想定していない埋設物等の影響から確認申請の計画変更と行政との調整を行う 2024年 工事完了、アーケードの運用を行う 協力団体等 市場中央通り第1アーケード協議会、那覇市役所、那覇市牧志公設市場 その他コメント		

(公社) 沖縄県建築士会 市場中央通り第1アーケード再整備



以前の市場中央通り第1アーケード



公設市場とアーケードの解体



仮設のアーケード



協議会総会



アーケード柱の位置・大きさ確認



試掘と地下埋設物の撤去



杭打ち



アーケード鉄骨フレーム



アーケード完成披露

建築士会名 川薩支部	地域会名 鹿児島県薩摩川内市	活動団体名・代表者名 建築士会川薩支部青年部・中村 慎一
発表者名 福山 真世	所在地 鹿児島県薩摩川内市	
第1分科会出席者名 福山 真世	TEL 0996-25-3411	
補助者名 中村 慎一	FAX 0996-25-3412	
	E-mail nomoto-k@k-taiyo.com	
テーマ 子供の夢を建築する！！建築士会員の活動		
概要 鹿児島県川薩支部全体で行う「まちづくりウォッチング夢絵画展」にて毎年、薩摩川内市内にある、幼稚園、保育園、小学校から700点ほどの建物や街並みの絵画が集まります。 その絵画の中から、私達青年部会員が一枚の絵画を選び、子供の自由な発想を、建築士が本気で形にします！！ * 令和4年度より初めており、これまで4つの絵画を形にしてきました。 この資料では令和4年度の作品を紹介いたします！ 選んだ絵画  完成(全体)  完成(3階内部)  完成(2階内部)  私達はこれからも、夢と建築の未来を育てていきます。 協力団体等 薩摩川内市教育委員会・(一社)鹿児島県建築士事務所協会・川内美術協会・南日本新聞社 薩摩川内市内の幼稚園、保育園、小学校・その他各種建設関係団体(11団体) その他コメント 是非、皆さんも子供の夢を形にしてください！！		

鹿児島県建築士会 川薩支部青年部会

子供の夢を建築する！建築士会員の活動 「4年間の追跡」



1回目の作品
円形に苦労しました💦

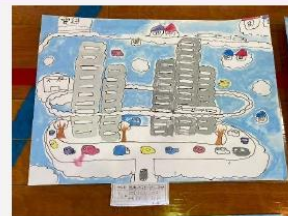


2回目の作品
照明で雰囲気作り
メンバー内でも大作と
評判でした！！
子供が初めて作品を
見た時の笑顔が
忘れられません。
将来、建築士になるって



3回目の作品
地底建築に再チャレンジ

大きな作品でしたが、
子供が喜んで持って
帰りました(≧▽≦)



4回目の作品
空にいきましたw



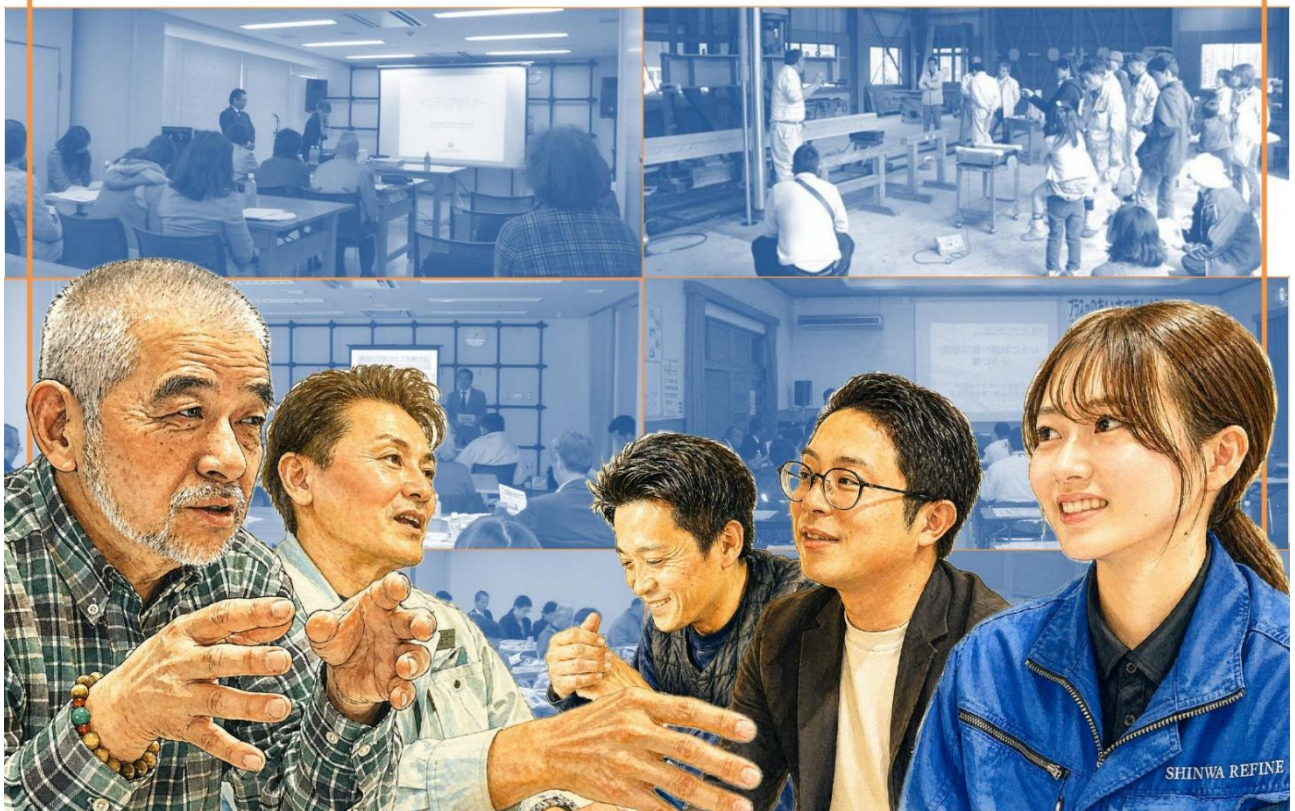
番外編 模型作成状況。大人数で何日も頑張りました！

私達はこれからも、夢と建築の未来を育てていきます

建築士会名 (公社) 大分県建築士会	地域会名 日田支部	活動団体名・代表者名 支部長 野村 晋二
発表者名 櫻木 弘三郎	所在地 大分県田島本町4-1	
第1分科会出席者名	TEL 0973-24-6022	
	FAX 0973-24-6022	
補助者名 梶原 宏一	E-mail kentikusikai.hita@gmail.com	
テーマ 住宅セミナー24年の変遷 これまで▶これから		
概 要 ■活動の背景と概要 1990年代は住宅の高気密・高断熱化が進み、換気不足による体調不良を訴える人が急増して社会問題となりました。いわゆるシックハウス症候群です。その結果2003年(平成15年)7月の改正建築基準法の施行により24時間換気システムの設置が義務付けられることとなりました。こうした背景のもと「健康的で良い家をつくるためには、建築士が学んだことを一般の方々に伝える機会が必要がある」との思いから2002年(平成14年)「これからの住宅づくり」をテーマに第1回目の住宅セミナーを開催しました。その後も時流に求められる事をテーマに取上げながら開催を続け、これまで27回実施してきました。 ■活動の趣旨 一日田でより良く暮らすー 大分県日田市は周囲を山に囲まれており、夏は35度を超える蒸し暑い日が多く、冬は朝晩に氷点下まで下がることもあります。また、年間降水量が多く、梅雨や台風の時期にはまとまった雨が降ることも少なくありません。 このように厳しい気候条件の中、健康で快適に暮らすためには、家づくりの知恵と工夫に加えて新しい技術を知ることが求められます。 ①建築士・一般の方々の知識向上の機会 ②頼られる存在として建築士会日田支部の知名度向上の機会 ■活動実績(抜粋) 第1回平成14年 これからの住宅づくり 第3回平成15年 健康な住宅づくり 第4回平成17年 地産地消の住まいづくり(日田材と日田の匠がつくる家) 第8回平成21年 家造りのための設計図、読み方と関連法律 第10回平成22年 日田の木をもっと知ろう 第14回平成24年 九州北部豪雨から学ぶ これからの家づくり 第17回平成26年 整理収納アドバイザー須磨由美さんによる快適な住まいの整理整頓術 第21回平成28年 平成28年熊本地震に学ぶ、命を守る家づくり 第23回平成31年 住宅にまつわる神様のお話～神様とくらす住まいづくり～ 第24回令和5年 日田の木をもっと知ろう～健康な家づくり～ 第26回令和7年 実家を空き家にしないために「負」動産にしない・させない! 第27回令和8年 新築もリフォームも!「お得」で「快適」な住まいづくり		
協力団体等 日田市		
その他コメント		



住宅セミナー24年の変遷 これまで ▶ これから



建築士会名 (一社)長崎県建築士会	地域会名 長崎支部	活動団体名・代表者名 青年部 鯖江 康裕
発表者名 鯖江 康裕	所在地 長崎市興善町4-6 田都ビル601号室	
第1分科会出席者名 鯖江 康裕	TEL 095-826-5514	
	FAX 095-826-5535	
補助者名 中町 将人	E-mail shikai_nagasaki@ngs1.cncm.ne.jp	
テーマ 未来へ紡ぐ～長崎らしさの継承～		
概要 ■活動の概要 長崎のまちは、江戸時代、鎖国制度を敷く中、唯一海外貿易港として発展し、様々な海外文化を受け入れてきた。その中で長崎独自の住宅様式として「長崎町家を中心とする和風建築物」と「外国人居留地に代表される洋館建築物」が確立した。そんな独特の様式を持つ歴史的建造物も都市開発や老朽化により急速に失われつつある中で、「長崎らしさ」を未来へ継承するために建築士には何ができるのか。解体される歴史的建造物の保存活用をきっかけに、私たちは次世代に繋ぐための人材育成や建物の継承、活用ルールの策定などの活動に取り組んでいる。		
■活動実績 ・ 明治31年建築の国登録有形文化財・市景観重要建造物「江崎べっ甲店」が解体されるのを知り、建具のレスキュー作業、長崎町家を学ぶ勉強会を実施した。 ・ 店舗の象徴的存在であった看板については、その歴史的背景を踏まえ、べっ甲資料館への移設・展示を実現し、設計および施工にも主体的に関わることで、文化資源としての新たな活用を示した。 ・ 保存した建具については、活用先の検討を進め、町家改修や民泊施設整備などで再利用。老朽化した長崎町家の改修時には、地域住民やまちづくり団体と協働でワークショップを開催し長崎町家の魅力を広く市民に発信した。 ・ 建具再利用で得た収益は若手ヘリテージマネージャーの育成に活用。 ・ 新築の住宅でも既存建具の活用や外観意匠の継承を行うことで、街並みの景観保存につなげていきたいと考え、長崎県や長崎市に働きかけ約2年を経て「長崎型気候風土適応住宅の基準及びガイドライン」を建築士会が中心となり策定。全国で初めて洋館型住宅についても気候風土適応住宅の対象となるよう行政に働きかけ実現した。 ・ 和風住宅について、より外観意匠の継承が容易となるような取り組みとして、現存町屋調査を市内中心部全域で実施。町屋保存に関する基礎資料として取りまとめを行った。		
 長崎型気候風土適応住宅基準 運用ガイドライン		
協力団体等 長崎県、長崎市、長崎市景観整備機構、長崎県ヘリテージマネージャー連絡協議会、活水女子大学、(一社)全国古民家再生協会、桜町小学校、諏訪小学校、江崎べっ甲店、長崎都市・景観研究所 長崎居留地歴史まちづくり協議会		
その他コメント		

(一社)長崎県建築士会

つむ 未来へ紡ぐ

～長崎らしさの継承～

受け継がれてきたこのまちの宝を、
次の世代へ。

長崎の歴史を支えてきた
住宅や建物たち。
私たちは今、
その価値を見つめ直し、
未来へとつなぐ
取り組みを行っています。



受け継がれた歴史

長い年月守られてきた貴重な建物。
私たちはその価値を見つめ直し、
大切にします。



今、私たちがつなぐ

地域の人々と協力し、
建物の保存・活用に取り組んでいます。



未来へつなぐまちづくり

次の世代が誇れるまちへ。
歴史と共に、より良い未来を
つくっていきます。

守り、活かし、伝えていく。これが、私たちの**使命**です。

建築士会名 (一社)佐賀県建築士会	地域会名 武雄・杵島地区	活動団体名・代表者名 武雄・杵島地区会長 友廣健二
発表者名 松尾祐弥	所在地 佐賀県武雄市武雄町大字昭和8-4	
第1分科会出席者名	TEL 0954-23-4780	
	FAX	
補助者名 前田実樹	E-mail y.matsuo-ko@hotmail.com	
テーマ 地震被害を減らすための耐震の普及活動について		
概要 ■活動の概要 佐賀県では、住宅の耐震化を促進するために「佐賀県耐震伝道師」という制度を設けています。これは、大規模な地震に備えて、県民の皆さんに住まいの安全性を考えてもらうための「普及啓発」を目的として活動しています。		
・主な活動内容 戸別訪問・相談：住宅を訪問し、耐震診断の重要性や改修の方法についてアドバイスをを行います。 地域への派遣：自治会や区などの集まりに講師として派遣され、耐震化に関する説明会やミニ講座を行います。		
補助制度の案内：自治体を実施している耐震診断や改修工事の補助金制度について、具体的な利用方法を案内します。		
・利用するメリット 信頼性：県が認定した専門家なので、強引な勧誘などの心配がなく、安心して相談できます。 無料相談：基本的に、啓発活動としての派遣や相談は無料で行われている自治体が多いです。 早期対策：「何から手をつければいいのか分からない」という段階でも、最初の一步をサポートしてくれます。		
普及啓発のためのマニュアルやPowerPointなどの資料は「佐賀県耐震伝道師」に共有されているためクオリティを担保できる仕組みになっています。		
■活動の趣旨 佐賀県は地震が少なく、耐震補強が進んでいません。しかし、大規模の地震は起こり得ます。佐賀県が実施する養成講習を修了した、建築士などの専門家「耐震伝道師」による普及啓発活動を実施。 単に技術的な知識を持っているだけでなく、「なぜ耐震化が必要なのか」「どのような補助制度があるのか」を、一般の方に分かりやすく伝える役割を担っています。		
■活動実績 令和7年11月21日 西川登公民館 まちづくり講演会 約70名参加		
協力団体等 佐賀県		
その他コメント		

- ・市町の求めに応じて戸別訪問、出前講座などで耐震化の必要性を“わかりやすく”伝える。
- ・県民の耐震診断、耐震改修に関する相談に応じる。
- ・地域で耐震化を進めるために独自の活動を推進する。

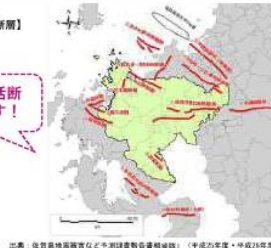
この資料は「名古屋工業大学・経済・デザイン工学部 社会経済学・資料研究室」で保管され、経済学コース 経済学系（特選）及び経済学研究（応用）と「金沢大学」によって制作された「本学定例の経費削減フォーラム」パンフレットを複製再刊に同意・加筆したものです。

[illegible]

1.地震を知る

出典：国立研究開発法人
産業技術総合研究所

佐賀県にも活断層はあります！



出典：佐賀県地産教育女子予測調査報告書概論版（平成25年度・平成26年度）

県内ほとんどの場所
で震度6以上の地震
が起こる可能性あり



出典：佐賀県地震被害など予測調査結果集版（平成25年度・平成26年度）

自分の家の
2. 強さを知る

耐震診断をしてもらうと建物が持つ強さの点数が付きます。建築基準法で定められた最低限の強さを「1.0」とした数値です。



命を落とす危険性:

旧食糧
(1961年1月)

食品	割合 (%)
穀類	45.1
野菜	18.2
肉類	11.8
脂質	5.1

新食糧
(1961年6月～2000年6月)

食品	割合 (%)
穀類	32.9
野菜	22.9
肉類	32.2
脂質	12.0

2000年基準
(2000年6月)

食品	割合 (%)
穀類	32.9
野菜	22.9
肉類	32.2
脂質	12.0

出典：(国立政策研究機構総合研究部、国立国際研究センター健康研究科)
(平成23年(2016年)日本食物摂取量調査報告書(速報))

● 穀類・野菜 ● 肉類 ● 脂質 ● 大豆 ● 繊維・小豆・中豆 ● 魚介類

出典：「国土技術政策総合研究所，国立研究開発法人建築研究所」
（平成28年〔2016年〕熊本県都市計画調査報告書〔速報〕）

安心に向けて
3. 今すぐ実行

仕事はいつもと変わらず生活できる？

この予算だと、どんな補修工事ができる？

見えないはどんな怪しになるの？

水回りのリフォームやバリアフリー化も一緒にできる？

納得がいくまで建築士に説明してもらってください

破庄	5 元	5 進	6 牌	6 進	7
無被寄					
小 破					
中 破					
大 破					
倒 場					

すじかい補強

建築士会名 一般社団法人 宮崎県建築士会	地域会名 日向支部	活動団体名・代表者名 宮崎県建築士会 未来創造委員会 委員長 川崎 拓人
発表者名 興梠 幸大	所在地 宮崎県宮崎市別府町2-12	
第1分科会出席者名 興梠 幸大	TEL 0985-27-3425	
	FAX 0985-27-3698	
補助者名 治田 知宏	E-mail info@miyazaki-aba.or.jp	
テーマ 「防災+ものづくり」建築士にできること		
【開催日】令和7年11月8日(土)13:00~17:00 【会場】日向ひとものづくりセンター(宮崎県日向市大字日知屋8097-2) 【参加者】47名 ■ 背景・目的 近年、地震・津波・高潮・洪水・土砂災害など自然災害の複合的リスクが全国的に高まっている。 日向市は海岸線・港湾部・平地部・丘陵・山地を含む複雑な地形を有し、地域固有の備えが不可欠である。 「防災+ものづくり」をテーマに、災害時に必要な道具と環境を自分たちの手でつくる体験を企画。 素材と構法を熟知する建築士ならではの防災貢献を、現場実践を通じて検証することを目的とした。 ■ 実施内容 【1】防災セミナー「南海トラフ地震に対する個人の備え」(講師:日向市防災推進課 薄田氏) 発生メカニズム、日向市の被害想定、個人レベルの日常的な備えを学ぶ。 【2】防災ものづくり体験(5グループ巡回方式) (1) 薪割り体験:ナタ・斧で災害時の燃料確保技能を習得 (2) 火起こし体験:摩擦着火で初期火源を確保(マッチ・ライター不使用) (3) 竹筒ごはんづくり:竹を加工し飯ごうを自作、薪火で炊飯まで完遂 (4) 防災テント作り:ブルーシートと木材で簡易避難スペースを構築 【3】閉会式・集合写真/懇親会で支部を越えた建築士ネットワークを醸成 ■ 成果・考察 建築士が日常業務で培う「素材の理解」と「構法的視点」が地域防災に直結することを参加者で共有できた。 竹飯ごう製作とテント設営は、寸法計画・接合・荷重処理という建築設計と同質の思考プロセスを要し、 専門性が現場で生きる手応えを得た。今後は他支部・地域住民・学校教育との連携拡大を視野に発展させる。		
   防災セミナー 薪割り体験 閉会式・集合写真		
協力団体等 日向市防災推進課(防災セミナー講師:薄田氏)		
その他コメント 当日は晴天に恵まれ全プログラムを完遂。建築士の専門性が地域防災に生きる手応えを得た研究集会となった。今後 も継続的な防災ワークショップを通じ、地域に開かれた建築士活動を展開していく。		

令和7年度研究集会「日向大会」補足資料

テーマ：「防災+ものづくり」建築士にできること

■ 体験プログラム記録（補足）

【1】薪割り体験

ナタ・斧を用いた木材の効率的分割を実践した。道具の角度、力の伝達、木目を読む技能を体得し、災害時の燃料確保に直結する基礎技術を習得した。熟練者と初心者が並んで取り組み、世代を超えた技能伝承の場ともなった。

【2】火起こし体験

火きり棒による摩擦発火を実践した。マッチ・ライターに依存しない初期火源の確保方法を体験することで、災害時の自立した対応力を養った。困難な作業を通じてグループ内の協働が深まる場面も多く見られた。

【3】竹筒ごはんづくり

竹を加工し飯ごうを自作、薪火による炊飯まで完遂した。竹の節を底として活かす素材選択、米と水の配合、火加減の調整等、素材の構造特性を読み取って活用する過程は、建築設計と同質の思考プロセスである。

【4】防災テント作り

ブルーシートと木材により簡易避難スペースを構築した。限られた資材で雨風をしのぐ空間を立ち上げる作業は、柱の立て方・結束角度・シートの張力など、構造の基本原則がそのまま詰まった内容となった。

■ 建築士の視点 | 業務への展開可能性

本研究集会の体験から得た示唆は、以下のとおり日常の設計業務に展開可能である。

- **設計提案**：太陽光・薪ストーブ・雨水利用など、ライフライン途絶時にも対応できる「エネルギー自立型住宅」の具体提案へつなげる。
- **構造・計画**：耐震・耐風性能だけでなく、被災後の応急処置を想定した「直せる構造」「壊れても再起できる住まい」の発想を取り入れる。
- **施主対応**：防災備品の収納計画、家具固定金物の選定、家庭内避難動線の助言など、設計段階から「災害後の暮らし」を提案する。
- **地域貢献**：応急仮設住宅の組立支援、被災家屋の応急危険度判定など、建築士の専門性が地域復旧に直接寄与する場面は多い。
- **次世代教育**：体験型ワークショップを通じて、子どもたちへ「自分でつくる力＝生き抜く力」を伝えていく。

■ むすび

「自分の手で何かをつくれる」ことは、災害時に自分と周囲を守る力になる。建築士は、設計図の中だけでなく、現場で手を動かせる専門家でありたい。今回の研究集会で得た学びを、日々の設計業務と地域活動に還元していきたい。

■ 活動風景（補足）



火起こし体験



竹筒ごはんづくり



防災テント作り



竹飯ごう炊飯

主催：一般社団法人 宮崎県建築士会 未来創造委員会

後援：一般社団法人 宮崎県建築士会 日向支部

建築士会名 公益社団法人 福岡県建築士会	地域会名	活動団体名・代表者名 (公社)福岡県建築士会 歴史的建造物委員会					
発表者名 花吉 朝陽	所在地 福岡県福岡市博多区博多駅前3-14-18 6階						
第1分科会出席者名 花吉 朝陽	TEL 092-441-1867						
補助者名 久保 美奈子	FAX 092-481-2355						
	E-mail shikaifu@crocus.ocn.ne.jp						
テーマ 歴史的建造物委員会の活動紹介							
概要 ■活動の概要 福岡県歴史的建造物委員会は平成31年(公社)福岡県建築士会の中に設置された委員会で、歴史的建造物に対する様々な活動を行っている。委員会は県士会会長を委員長に据え、有識者による委員会、ヘリテージマネージャーによる専門部会にて構成されている。 活動の中には、自治体や個人所有者からの要請により登録文化財申請調査、耐震予備診断など、委託業務として、建築士会の収益事業となっているものもある。 またR7年度には、福岡市と連携協定を結び、市側、建築士会側双方からの要請等を容易にする関係づくりを行っている。							
■活動の趣旨 福岡県歴史的建造物委員会は連合会の要請により建築基準法適用除外条例を制定する自治体への協力を目指して設立された。 現段階で条例制定の協力事例はまだないが、所有者、自治体からの歴史的建造物に対する様々な悩みに寄り添い、歴史的建造物を救いあげるきっかけとなる相談窓口として機能するほか、災害時を見据えた自治体との連携協定の対応部署としても機能している。							
■活動実績 令和元年度 ・O家住宅耐震予備診断 令和2年度 ・東峰村文化財記録保存業務歴史的建造物調査 令和3年度 ・百年庭園の宿 翠水(旧旅館田川 離れ)国登録申請調査・作図 ・光岡公民館耐震予備診断 ・M家住宅国登録申請調査・作図 令和6年度 ・S家住宅(離れ座敷棟・浴室棟・新蔵)中間調査・作図 令和7年度 ・災害時における福岡市の文化財(建造物)に関する連携協定書 調印 ・S家住宅調査・作図及び国登録申請 ・福岡市登録有形文化財(建造物)所有者連絡会への参加							
■活動成果 <table border="0"> <tr> <td>国登録 1件</td> <td>耐震予備診断 2件</td> <td>記録調査 1件</td> <td>連携協定活動 2件</td> </tr> </table>				国登録 1件	耐震予備診断 2件	記録調査 1件	連携協定活動 2件
国登録 1件	耐震予備診断 2件	記録調査 1件	連携協定活動 2件				
協力団体等 福岡県HM協議会 福岡市							
その他コメント							

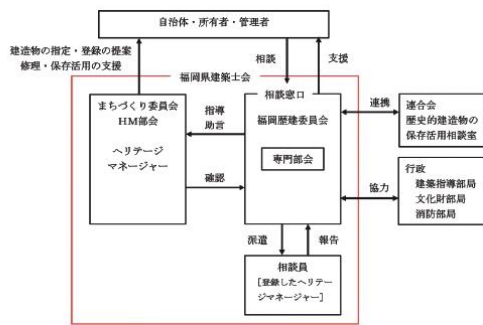


福岡県歴史的建造物委員会 活動紹介

福岡県内の歴史的建造物何でも相談窓口

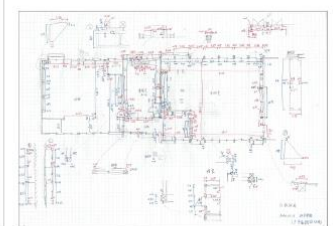
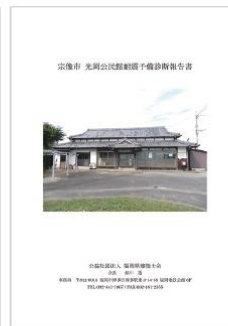
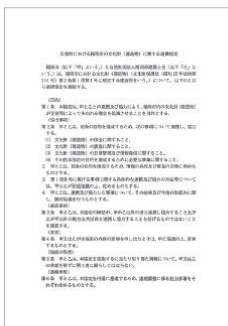
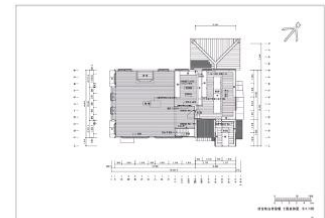
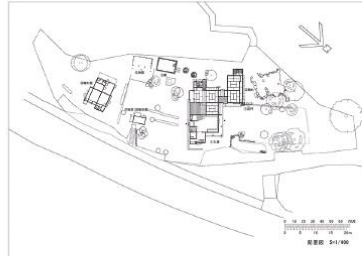
古い建物を残したい
古い建物の耐震性能が知りたい
文化財にしたいがどうすればわからない
専門家がお応えします

福岡県建築士会歴建相談体制のフロー図



実績紹介

国登録業務
耐震予備診断
文化財調査
自治体との連携協定



建築士会名 熊本県建築士会 天草支部	地域会名 天草市天草町高浜地区	活動団体名・代表者名 旅館白磯を守る会 代表 畑元正司
発表者名 畑元正司	所在地 熊本県天草市天草町高浜南2725番地3	
第1分科会出席者名 畑元正司	TEL 0969-42-0421	
	FAX 0969-66-9814	
補助者名 佐々木幸生	E-mail a.sumamachi@dune.ocn.ne.jp	
テーマ 旅館白磯再興プロジェクト ～文化財はまちづくりの核となり得るか!?～		
概要【伏線から経緯】 平成27年 天草市本渡地区にある歴史的建造物「旧梶原産婦人科医院」を借りて「天草のすまいとまちなみ研究室」（一級建築士事務所）を開設。 平成28年 昭和8年建築の「旧茅州館新館」の保存活動を行うが、解体が決定していた為建物を譲り受け大工の手で分解解体して、将来復元できるように倉庫に保管する。 平成30年 天草市牛深町の偉人「宇良田唯」所縁の建物「玄彰蔵」の保存活動の為建築士会支部と高校生とでワークショップを開催するが有効な活用法を見出せず、自らの所有として保存する。 令和3年 7月 空き家対策・まちづくりを目的とする「一般社団法人 天草地域総合研究所」を設立。同法人の副理事長に就任。 令和4年 6月 国登録有形文化財「旅館白磯」が廃業。購入者を探し始める。 令和6年 8月 自ら購入して保存活動を行う。 11月 登録文化財所有者変更手続き完了。 12月 地域の有志に呼びかけて「高浜白磯協議会」設立。 令和7年 1・2月 地域住民とのワークショップとして旅館白磯の片付け清掃作業を行う。 3月 当地高浜で撮影された映画スタッフの宿舎として約3週間建物を提供。 4月 高浜地区で旅館白磯を購入した経緯と今後の活用について住民説明会を行う。「高浜白磯協議会」から「旅館白磯を守る会」に名称を変更し広く会員を募る。 5月 第1回復興イベント ギター弾き語りライブを開催。 6月 台湾から15名のお客様を迎え民間交流を行う。（天草地域総研事業） 隣にある「天草小学校」の6年生の児童が宿泊体験をして清掃を行う。 8月 第2回復興イベント 障子の貼替えワークショップ第1回を行う。 第3回復興イベント 故梶原嘉辰氏 油絵展を開催。 10月 第4回復興イベント 三線弾き語りライブコンサート開催。 11月 観光庁「地域観光魅力向上事業」モニターツアー受入れ。（天草地域総研事業） 令和8年 1月 「熊本ヘリテージマネージャー会議 天草大会」開催。 2月 第5回復興イベント 障子の貼替えワークショップ第2回を行う。 4月 旅館として営業開始。 【趣旨と概要】 歴史的建造物は地域の文化を凝縮したタイムカプセルである。そして、地域の歴史と文化を守り磨いていくことこそが真のまちづくりであるという思いから建物を守り続けている。 特に登録文化財である「旅館白磯」はなくしてはならない大切な天草の宝である。次世代へ引き継いで行くことができるように旅館として再興するために購入した。住民の方々もこの建物を大切に思って積極的に活動に参加して下さるようになった。 昨年4月に当地に移住していた夫婦が支配人と女将として旅館を運営する事になり、掃除やリネン交換は地域の方々がパートとして協力してもらうよう合意し、スタッフが整った。 今後この建物が地域のシンボルとしてまちづくりの拠点となるよう活動を続けたい。 これをきっかけに地域住民の結束が更に強くなり、活力のある地域となることを期待する。		
協力団体等 一般社団法人 天草地域総合研究所（天草地域総研）		
その他コメント 多くの方々の協力により旅館の再興活動が進んでいる。 このような人の繋がりこそがまちづくりの基本であると再認識している。		

地域実践活動 旅館白磯再興プロジェクト 補足説明

【今後の課題】

- ・次世代に引き継ぐために、経済的に成り立つ旅館経営を構築する。
- ・敷地内の他の登録有形文化財「離れ」と「倉庫」の活用を進める。
- ・残された資料を調査・検証し、文化財としての価値を探究する。
- ・高浜地区の他の建物も調査して、まちなみとしての価値を探究する。
- ・地域の宝としてまちづくりに活用してもらうように、地域との連携を深める。
- ・島内にある他地域のまちづくり活動と連携して、天草全体の地域活性化を図る。



島内まちづくりの連携

《一社）天草地域総合研究所会員が主導するまちづくり》

- | | |
|---------------|---------------------|
| ① 高浜地区のまちづくり | 旅館白磯を守る会 |
| ② 御領地区のまちづくり | プロレス殿堂館 |
| ③ 城川原地区のまちづくり | 一社）天草 1000 年の人と土の営み |
| ④ 本町鶴地区のまちづくり | 本町鶴まちづくりの会 |
| ⑤ 牛深町のまちづくり | 宇良田唯女史顕彰会 |
| ⑥ 古江地区のまちづくり | 永田隆三郎記念館 |

《その他連携するまちづくり》

- | | |
|--------------|--------------|
| ⑦ 下浦町のまちづくり | 下浦弁天会 |
| ⑧ 御所浦町のまちづくり | 一社）アコウプロジェクト |

第 1 分科会

- テー マ 地域実践活動テーブル討議「これからの地域共創」
- 会 場 熊本城ホール 3 階 会議室 C 1 + C 2
- 人 数 4 8 名 （各県地域実践活動発表者 2 名、各県 4 名）
- 内 容
 - 〈前半：全大会で発表された地域実践活動のテーブル討議〉
各県の地域実践活動発表者が各グループ（4 テーブル）に分かれて発表の補助説明を行い、大会参加者と共に活動の内容についてテーブル討議を行います。
 - 〈後半：用意されたテーマについてのテーブル討議〉
各グループに分かれて用意されたテーマについてテーブル討議を行います。最後に全体での発表を行い、参加者みんなで情報を共有して地域とのつながりを築きます。
- スケジュール
 - 1 5 : 0 0 ~ 分科会開会挨拶及び運営説明
 - 1 5 : 1 0 ~ テーブル討議 前半開始
 - 1 6 : 1 0 ~ テーブル討議 後半開始
 - 1 6 : 4 0 ~ 全体発表（まとめ：5 分 × 4 テーブル）
 - 1 7 : 0 0 ~ 分科会閉会挨拶

第2分科会

- テーマ 古谷誠章氏の講演「建築が引き合やす、もの、人、風土」
- 会場 熊本城ホール2階 シビックホール
- 人数 250名～（一般参加も予定、事前申込）
- スケジュール 15:00～ 講演
16:45～ 質疑
- 略歴 1955年 東京生まれ
1978年 早稲田大学理工学部建築学科卒業
1994年 八木佐千子氏と共同して NASCA を設立
1997年 早稲田大学理工学部教授
2007年 日本建築学会作品賞／日本建築学会作品選奨／日本建築家協会賞／日本
建築業協会賞受賞「茅野市民館」
2017年 日本建築学会 会長
2021年 東京建築士会 会長
2024年 日本建築士連合会 会長

鹿児島県〈阿久根市民交流センター 風テラスあくね〉



佐賀県〈鹿島市民文化ホール SAKURAS〉



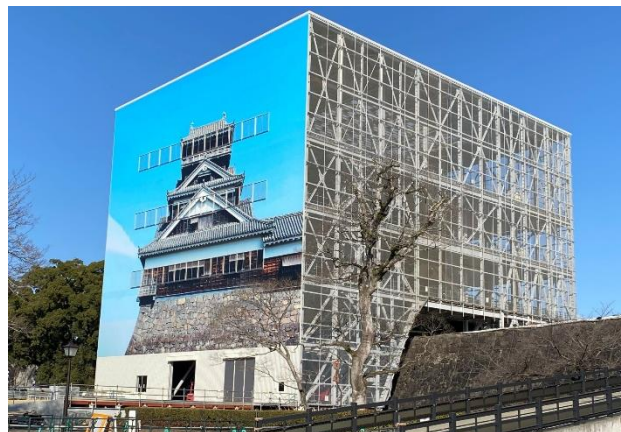
第3分科会

- テーマ 熊本城の復旧状況が分かる現地見学会
- 会場 熊本城ホール3階 会議室E1+現地（熊本城）
- 人数 40名（20名×2グループ）
- 内容 熊本地震の被害を受けた熊本城と周辺の重要文化財等の復旧計画では、2042年までに主要区域内の復旧完了を計画しています。文化財の防災・復旧の途中経過の説明と現地見学を合わせて行い、熊本城の今を体感できます。
- スケジュール 15:00～ 熊本城復旧計画説明（会議室E1）
15:20～ 熊本城へ移動
15:35～ 現地見学（現地解散予定）
- 注意事項 対象者：建築士のみ
復旧工事現場を見学予定のため、各自ヘルメットを準備してください。
移動は徒歩で、階段や足元が悪い箇所がありますので、歩きやすい靴、服装でご参加ください。暑さ対策の帽子、飲み物、傘等は各自準備してください。
天守閣等の入園料が必要なエリアの見学は予定していません。

〈田子櫓〉※見学予定

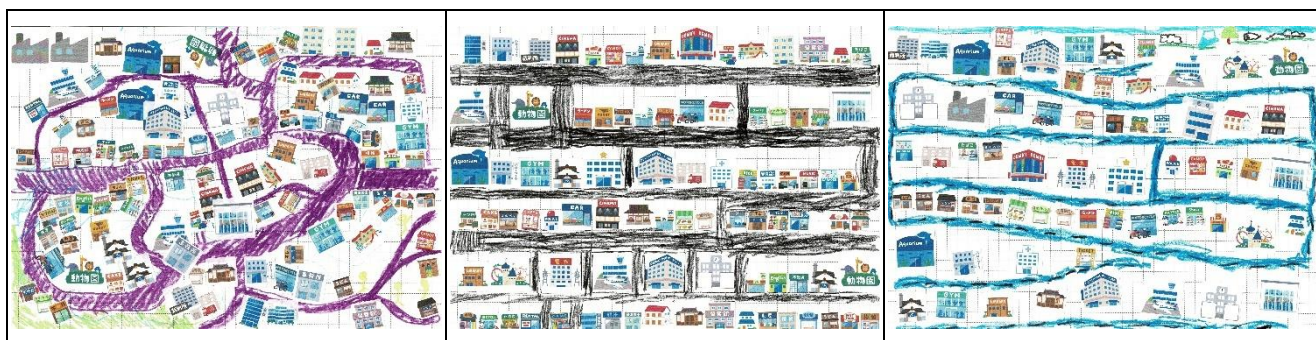


〈宇土櫓〉※見学予定



第4分科会

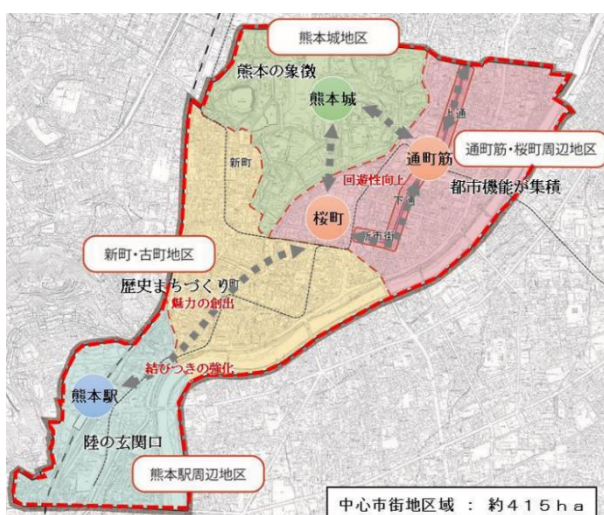
- テーマ 親子でたのしむ「たてもののシールでまちづくり！」
- 会場 熊本城ホール3階 会議室 D1+D2
- 人数 親子12組（24～36名）
- 内容 まちづくりをシールとクレヨンで楽しく学ぼう！
お子さんにたてもののシールで建物の名称や用途を教えたり、お子さんと一緒にクレヨンで道を描いたり、お子さんに楽しくまちづくりを知ってもらいましょう。
できあがった作品は、お子さんからどんなまちをつかったのかを聞いて、おともだちにも話してみましょう。
できたご褒美に、「お菓子」と「水で落とせるクレヨン」をプレゼント！
- スケジュール 15：00～ 概要説明
15：15～ 「たてもののシールでまちづくり！」開始
15：50～ 休憩
16：05～ プレゼン（親子間の後、グループ内で）
16：25～ 熊本のまちづくりの紹介
16：35～ 集合写真
16：45～ おかたづけ
- 注意事項 推奨年齢：幼児～小学校低学年
お子様のみのご参加はご遠慮いただいております。託児が必要な方は、別途用意している託児室をご利用ください。
成果品（厚紙 A3 用紙）はお持ち帰りいただけます。輪ゴムを用意しておりますので丸めてお持ち帰りください。
- 作品例 ※試作段階のため使用するシール等が異なる場合がございます。



第5分科会

- テーマ くまもと城下町まちあるき
- 会場 現地（熊本城ホール周辺～新町・古町界隈）
- 人数 30名
- 内容 熊本城ホールがある桜町周辺地区から城下町の風情が残る新町・古町地区界隈のまちあるきを行います。
- スケジュール 15:00～ まちあるき（現地解散予定）
- 注意事項 移動は徒歩です。歩きやすい靴、服装でご参加ください。
暑さ対策の帽子、飲み物、傘等は各自準備してください。
- 地区の概要 〈新町・古町地区〉
加藤清正の造った「一町一寺」の町割り、西南戦争以降に復興した「町屋」や史跡など歴史と伝統が残り、熊本市歴史的風致維持向上計画における重点区域に位置付けられている。
熊本地震において「町屋」等、多くの歴史的建造物が被害を受けたところであるが、復旧・復興に向け住民と協働で取り組み、風情のある町並みや景観に配慮した城下町の魅力あふれるまちづくりを進めることとしている。また、本地区に残る貴重な歴史文化遺産を活かし、地域の活性化や観光の振興につなげるとともに、後世に継承していくための取り組みを、現在、地域のまちづくり団体や住民等と協働で取り組んでいる。

〈旧長崎次郎書店〉※見学予定



参加者集計表

県 名	大 会	意見交換会
沖 縄 県	31	26
鹿 児 島 県	30	26
大 分 県	50	38
長 崎 県	38	33
佐 賀 県	59	34
宮 崎 県	45	33
福 岡 県	59	33
熊本県（スタッフ含む）	101	73
他 県 参 加 者	1	1
参 加 者 合 計	414	297

※集計表は令和8年5月28日の集計です。

●「建築士の集い」次年以降開催予定

令和9年度	沖 縄 県
令和10年度	鹿 児 島 県
令和11年度	大 分 県
令和12年度	長 崎 県

本大会情報は以下 SNS 等でも発信しています。

●建築士青年・女性九州ブロック協議会



フェイスブック



インスタグラム

●公益社団法人熊本県建築士会



ホームページ



田中 道子さん

令和4年度 一級建築士合格

総合資格のおかげで人生変わりました。

総合資格学院イメージキャラクター
令和4年度 一級建築士試験合格
当学院受講生・併読
田中 道子さん

一分、一秒を積み重ねた日々。

信じられる環境だから、迷わなかった。

重要なのは、「近年」の合格実績！

直近10年間、総合資格学院は1級建築士合格者数日本一

九州エリア

福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・
大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県

1級建築士
合格実績

—10年間—

No.1

平成28～令和7年度

1級建築士 学科+設計製図試験

九州エリア 10年間

ストレート合格者占有率

57.1%



九州エリアストレート合格者合計 956名中 /
当学院受講生 546名

平成28～令和7年度

1級建築士 設計製図試験

九州エリア 10年間

合格者占有率

52.5%



九州エリア合格者合計 2,686名中 /
当学院受講生 1,411名

★学科・製図ストレート合格者とは、1級建築士学科試験に合格し、同年度の1級建築士設計製図試験にストレートで合格した方です。 ※当学院のNo.1に関する表示は、公正取引委員会「No.1表示に関する実態調査報告書」に基づき掲載しております。 ※都道府県ストレート合格者数・都道府県合格者数は、(公財)建築技術教育普及センター発表に基づきます。 ※総合資格学院の合格実績には、模範試験のみの受験生、教材購入者、無料の役務提供者、過去受講生は一切含まれておりません。 (令和7年12月24日現在)



総合資格学院

www.shikaku.co.jp

総合資格

検索

X ⇒「@shikaku_sogo」LINE ⇒「総合資格学院」

Instagram ⇒「sogoshikaku_official」で検索!



開講 1級・2級 建築士/建築・土木・管工事施工管理技士/設備・構造設計1級建築士/
講座 建築設備士/宅建士/賃貸不動産経営管理士/インテリアコーディネーター

法定 監理技術者講習/一級・二級・木造建築士定期講習/管理建築士講習/
講習 宅建登録講習/宅建登録実務講習/第一種電気工事士定期講習

天神校 TEL.092-716-2081

佐賀校 TEL.0952-27-9861

熊本校 TEL.096-212-6811

北九州校 TEL.093-522-7511

長崎校 TEL.095-816-3611

鹿児島校 TEL.099-239-5711

久留米校 TEL.0942-36-7141

大分校 TEL.097-540-6281

沖縄校 TEL.098-866-8311

令和8年度 九州ブロック研究集会 「建築士の集い」熊本大会 開催おめでとうございます



一級建築士事務所協会会員
熊本県建築士会会員



(有)佐藤設計事務所

一級建築士事務所
建築・企画・設計監理・耐震診断

本社：熊本県上益城郡益城町広崎1304-1
〒861-2236 ☎096-286-9735(代)
☎096-286-9846
E-mail satou3007@yahoo.co.jp

URL <https://satou-design.jp/>



合否は、 選択で 決まる！

日建学院

合否を分けるのは、「知識」や「能力」だけでなく、最初にどんな環境を選んだか。

日建学院なら、「いつまでに」、「何を」、「どこまでやるか」、やるべきことは明確です。

あなたは、正しい順番で、正しい量を、正しい方法で学ぶだけ。

合格までの道筋は、すべて用意されています。

＼ 1・2級建築士 設計製図試験 ／

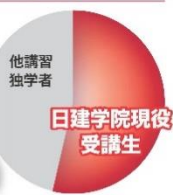
合格者占有率**50%超!** 地域**No.1**の合格実績!

2025年度 九州エリア9県
合格者占有率

No.1

1級建築士設計製図

53.7%



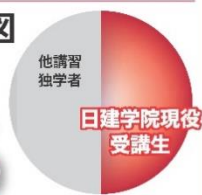
九州エリア合格者 324人中 174人が日建学院生!

2025年度 九州エリア9県
合格者占有率

No.1

2級建築士設計製図

50.1%



九州エリア合格者 483人中 242人が日建学院生!

※日建学院の合格実績には、模擬試験のみの受講生、教材購入者、無料の役務提供者、過去受験生は一切含んでおりません。

あなたの夢、応援します。

日建学院

★資料請求・各種お問合せは最寄校へお気軽にどうぞ★

山口校 TEL.083-972-5001

徳山校 TEL.0834-31-4339

北九州校 TEL.093-512-7100

飯塚教室 TEL.0948-33-9260

天神校 TEL.092-762-3170

博多校 TEL.092-233-1156

久留米校 TEL.0942-33-9164

佐賀校 TEL.0952-31-5001

大牟田教室 TEL.0944-32-8915

長崎校 TEL.095-820-5100

佐世保校 TEL.0956-88-2060

大分校 TEL.097-546-0521

中津校 TEL.0979-25-0002

熊本校 TEL.096-241-8880

熊本校 TEL.096-240-1150

宮崎校 TEL.0985-50-0034

延岡校 TEL.0982-34-7183

都城校 TEL.0986-88-4001

鹿児島校 TEL.099-808-2500

沖縄校 TEL.098-861-6006

うるま校 TEL.098-916-7430

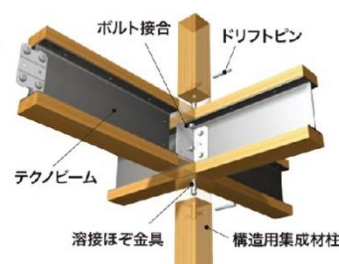
名護校 TEL.0980-50-9115

Panasonic

その課題、
解決するなら

木造の弱点を鉄骨で補強した
パナソニックのオリジナル木造工法

木+鉄の独自部材
「テクノビーム」



「テクノストラクチャー」

4つの課題解決力

✓ **コスト低減**

✓ 鉄骨造並みの
大空間

✓ **工期短縮**

✓ パナソニックの
構造計算

 **コスト低減に貢献**

鉄骨造からテクノストラクチャー工法に切り替え、地盤改良費・基礎工事費・躯体工事費のコストが下げられたことにより、大幅コストダウンを実現した実例をご紹介します。

実例1 焼肉店 店舗

平屋・延床面積367㎡(111.2坪)

鉄骨造→
テクノストラクチャーで

↓ **約48%**
コストダウン

実例2 食品工場

平屋・延床面積867㎡(262.2坪)

鉄骨造→
テクノストラクチャーで

↓ **約30%**
コストダウン

A工事(建物の躯体部分、共用施設に関わる部分)の工事費を実物件のデータと比較。コスト削減率は物件のプランや建築地、その他条件によって異なります。

 **工期短縮に貢献**

テクノストラクチャー工法の建物は木造で軽量のため、鉄骨造・RC造に比べて基礎工事や地盤改良の工期短縮が可能。また工期短縮の鍵を握る部材調達リードタイムが鉄骨系部材に比べて短いことも大きなアドバンテージです。

実例1 診療所

2階建・延床面積633㎡

着工から**6か月**で竣工

鉄骨造で計画していたが部材調達のリードタイムが開業希望時期に間に合わずテクノストラクチャー工法に変更。テクノビーム・木材共に1か月程度で現場納入し、希望通りの工期で竣工。

実例2 小売店店舗

平屋・延床面積166㎡

着工から**3か月**で竣工

地盤が悪い土地への建設。鉄骨造の場合は支持層まで20~23mの地盤改良になるところを、テクノストラクチャーに変更することで表層改良のみで建築可能に。短工期の要望に応えることができました。

工期短縮は物件のプランや建築地、その他条件によって異なります。

 **鉄骨造並みの大空間が可能**

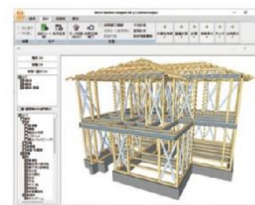
大規模建築のために開発した各種部材により通常の木造では実現の難しい広さを柱なしで実現できます。また、4m柱の活用で天井高さが必要な倉庫や店舗にも対応可能です。



※12mは、平屋で対応できる最大スパンです。床梁の場合は最大8mまでの対応となります。設計条件によってご要望に合わない場合があります。

 **パナソニックによる
構造計算で各種法改正にも対応**

木造非住宅を建設する際のネックの一つである構造計算。テクノストラクチャー工法ではパナソニックが許容応力度計算による構造計算を実施するため、依頼先を別途探す必要がありません。3000㎡までは一体設計が可能。3000㎡を超える建物にも構造を分割して設計することで対応が可能です。



「工法特長をもっと知る」



「動画で実例と
施工方法をもっと見る」



パナソニック アーキスケルトンデザイン株式会社
〒571-8686 大阪府門真市門真1048 TEL 06-6906-2269

くらしの「ずっと」をつくる。



和久田建設株式会社



TQM
TOTAL QUALITY MANAGEMENT



創業百三十一年、伝承の技を礎に
心に響く作品づくりと
明日を提案する信頼の企業へ



明治27年 5月 創業(八代市迎町)
昭和22年 5月 有限会社和久田工業所 設立
昭和24年10月 和久田建設株式会社に商号変更
建設業法施行に伴い熊本県知事登録
昭和25年11月 熊本営業所開設
昭和28年 2月 建設大臣登録 一級建築士事務所登録
昭和50年 6月 福岡支社開設
平成29年 4月 福岡支社移転(博多区上牟田)

■ 熊本本社 ■
熊本市中央区九品寺2丁目8-19 〒862-0976
TEL096-366-8111 FAX096-366-8116
■ 八代本部 ■
熊本県八代市迎町2丁目9-10 〒866-0055
TEL0965-32-5171 FAX0965-33-5556
■ 福岡支社 ■
福岡市博多区上牟田1丁目28-16 〒812-0006
TEL092-475-1575 FAX092-475-1593



感謝と共にこれからも
建設資材総合商社・専門工事業

① 株式会社 清永宇藏商店

代表取締役 清永 栄二郎

〒861-3194 熊本県上益城郡嘉島町上仲間294番地22
TEL 096-237-3111(代) FAX 096-237-3302



山代電機製作所

YAMASHIRO Electric machine factory

代表取締役 山代峰也

〒869-0412 熊本県宇土市岩古曾町2050-1

TEL:0964-22-4475 FAX:0964-22-4012

URL: <https://yamashirodenki.com/>

E-mail: yds-kumamoto@yamashirodenki.co.jp

非住宅建築の省エネ検討をもっと簡単に

省エネ検討Webサービス



無料の非住宅向け省エネ計算サービス

非住宅建築物の
外皮性能確認・省エネ適判申請
のための計算書自動作成が可能



詳細ページは
こちらから

Point 1



完全無料。
プロジェクト作成数に
制限なし

Point 2



Webブラウザだけで
手軽に省エネ性能を
シミュレーション

Point 3



簡単入力で
詳細な検討も可能

Point 4



チームでの
共同利用が可能

 YKK AP株式会社 <https://www.ykkap.co.jp/>

❖ 出田実業株式会社

(建設業者登録 熊本県知事(般-3) 第939号)

本社 〒860-8691熊本市中央区河原町11番地
TEL 096-354-0111 (FAX:096-354-0102)

得販部事業所 TEL 096-324-1651 人吉営業所 TEL 0966-22-5231

八代営業所 TEL 0965-33-8111 玉名営業所 TEL 0968-72-2131

天草営業所 TEL 0969-23-1402

HP: <http://www.ideta.co.jp>

E-mail: info@ideta.co.jp

建築に関するすべての素材を取り揃えて皆様のご要望にお応えいたします。

板硝子・サッシ・軽鉄下地・内装・外装・置床・屋根・土木資材
住設機器・太陽光発電・耐震補強・輻射式冷暖房

クニづくり・マチづくり・モノづくりに貢献する



小野建株式会社 熊本支店

熊本支店長 多田隈 亨

〒861-3202 熊本県上益城郡御船町小坂729-4

TEL : 096-281-7101

FAX : 096-281-7131

URL : <https://www.onoken.co.jp>



HPはこちら

営業種目

鉄骨工事 杭工事・地盤改良工事 屋根・外壁工事

金属製建具工事 エレベーター工事・駐車場工事 外構工事

内装工事 重仮設工事 各種建設資材取扱

ユーミーマンションは 鉄筋コンクリート造の
賃貸マンションとして全国展開しているブランドです
快適な賃貸ライフ、ここから始めませんか？



ぼく、ユーミーマン！
検索してね♪



総合建設業 (株) 小笹建設
熊本県八代市渡町 1303
TEL (0965) 32-7410

不動産 (株) ランドウィル
熊本県八代市渡町 1289-1
TEL (0965) 32-8220
<http://landwill.jp>



 **ASSET**
Funtech

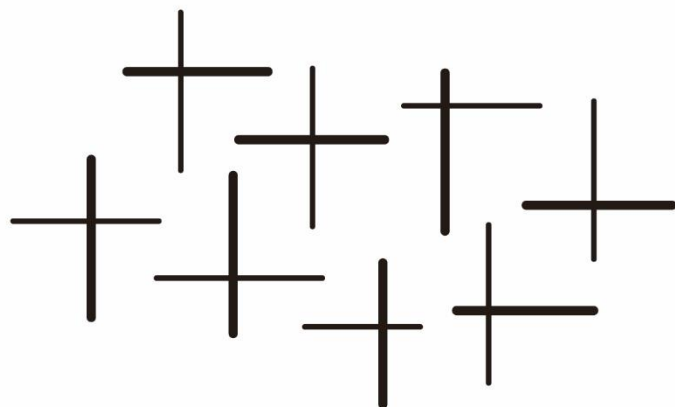
実績
4,000 件以上
ご相談だけでも歓迎です

地盤改良 / SSコラム工法 / 鋼管杭工事 / TGパイル工法

(株)アセットファンテック tel.0964-42-5970

〒861-4214 熊本県熊本市南区城南町舞原 1098 <https://asset-funtech.co.jp/>





shigaki design shop co.,ltd.

夢をカタチに
笑顔をカタチに

 株式会社 竹内工務店

〒862-0913
熊本市東区尾ノ上4丁目20番11号

096-365-3366

<https://www.takeuchi-k.com/>

info@takeuchi-k.com

 SNS  HP

おかげさまで149周年 感謝の気持ちを形に…

代理店販売

SPACE 製造元：東芝エレベータ

アキュドユニット（吊り下げ式引き戸）

スチール家具 製造元：くろがね工作所

小型エレベーター 製造元：パナソニック
エレベーター

住設設備 製造元：LIXIL / TOTO
Panasonic

機械式駐車場
製造元：IHI扶桑エンジニアリング



株式
会社

しんらい・みらい・あたらしい

古荘本店

代表取締役 古荘 貴敏

熊本市中央区古川町13番地

TEL：096-355-3312

FAX：096-359-9080

<http://www.furushohonten.co.jp/>

Kmew

NEW COLOR 01 コモンブラック

美しく輝く上質な黒

洗練された印象を与える黒に煌めく繊細なライン。
星の軌跡のような美しさと高級感を醸し出す。

NEW 2025年5月7日発売

[シンプルシリーズ/スタイリッシュライン]
[シンプルシリーズH/スタイリッシュラインH]
コモンブラック

金属サイディング

はる一番

NEW COLOR 02 Pボトルグリーン

落ち着きと個性を備えた緑

常緑樹の森を彷彿とさせる深みのグリーンが、
重厚感の中に温かみのある印象を演出。

NEW 2025年5月7日発売

[シンプルシリーズ/
プレーンシェイプ]
[シンプルシリーズH/
プレーンシェイプH]
Pボトルグリーン

NEW 2025年5月7日発売

[シンプルシリーズ/クワトロスパン]
[シンプルシリーズH/クワトロスパンH]
Pボトルグリーン



WEBページはこちら

未来を、いま、選ぼう
そしてオンリーワンの夢と物語を

ケイミュー株式会社

熊本営業所 〒860-0072 熊本市西区花園1丁目5番5号 TEL(096)355-8330 <https://www.kmew.co.jp/>

建築設計・工事監理・構造計算・耐震診断・耐震改修

株式会社 産絃設計



田口建築設計事務所

不二電気工業株式会社

代表取締役社長 いわさき 岩崎 勤

準用工作物
確認申請代理
(九州・沖縄)

お問合せは 一級建築士事務所 管理建築士 おざさ 小篠 幸平

〒860-0053

熊本市西区田崎1丁目4-28

☎ 096-354-3555 ☎ 080-3435-8456

✉ ko-ozasa@fujidenkikogyo.co.jp



fujidenkikogyo.co.jp

地域に根付く企業として安心を支えたい、これからも。

解いて帰す職人たち

建物には命が宿る。
建てた人、利用した人たちの
想いがある
建物に礼を尽くし、
解いて帰す。
それが、わたしたちの仕事です。



総合解体工事
株式会社 前田産業

【本社】
〒861-4114 熊本県熊本市南区野田3丁目13-1
TEL: 096-358-6600 FAX: 096-358-0754
【支店】
東京、名古屋、大阪、広島、福岡、鹿児島、沖縄、天草、宇城



国産BIMで確かな一歩を。

BIM図面審査への対応と

現場のデジタル化を実現!

GLCOBE
Architect / Construction
BIM建築設計・施工支援システム【グループ】



福井コンピュータアーキテクト株式会社

■九州営業所／福岡県福岡市博多区博多駅東2-2-13博多駅前ビル3F
■本社／福井県坂井市丸岡町磯部福庄5-6

熊本を築き、安心を創造する。 タクミラー 一般社団法人 熊本県建築協会

〒862-0976 熊本市中央区九品寺4-6-4
TEL (096) 364-2122 FAX (096) 364-2124

NODAICHI

建築、土木資材販売施工・省エネルギー計算業務



株式会社 野田市兵衛商店

代表取締役社長 野田 和宏

本 社 〒860-0804 熊本市中央区幸島町8番21号

TEL : 096-377-2080 FAX : 096-377-2070

URL : <https://www.nodaichi.co.jp>



©2010 熊本県くまモン #K38717



写真提供:くもとアートボリス「甲佐町住まいの復興拠点施設」



写真提供:くもとアートボリス「南阿蘇鉄道高森駅・交流施設」

公益社団法人 熊本県建築士会 建築士の集い実行委員会
事務局:〒862-0954 熊本県熊本市中央区神水1丁目3-7 熊本県建築士会館2階
TEL:096-383-3200 / FAX:096-383-1543 / E-mail:LEB03540@nifty.ne.jp